

令和4年度 第1回 長野市商工振興・雇用促進審議会

資料2

長野市 商工業振興 雇用促進計画

2022-2026
令和4年度～令和8年度

基本方針及び推進施策

商工観光部商工労働課

■ 特色を生かした商工業の振興

基本方針①	商工業の基盤強化と環境整備の促進
-------	------------------

関連するSDGs



【推進施策1】 商工業の基盤強化

中小企業の経営基盤を強化するため、助成制度、資金融資制度等の充実を図るとともに、商工会議所、商工会等の商工団体の活動の支援により経営者の育成及び経営・融資相談等の相談体制の整備を進めます。

■ 主な事業の取組

事業名	事業概要
小規模事業者のデジタル化支援	事務の効率化や生産性の向上のためにICT・IoTのシステムに係るソフトウェア、ハードウェア等を導入する小規模事業者を支援します。
R 4 年度の事業実績	
【事業目的】	市内小規模事業者を対象とし、事務効率化や生産性向上のためのIT機器導入を支援する
【補助対象等】	
補助対象者	小規模事業者のうち、市内に事業所又は事務所を有している、資本金1,000万円以下の法人又は個人事業主
補助対象経費	支援機関（商工会議所、商工会、よろず支援拠点）の助言を受けた、事務効率化や生産性向上のためのIT機器等（ハード・ソフト）の導入経費 ・会計処理、受発注管理、決済、人事給与管理といったシステムの導入 ・キャッシュレス決済やPOSレジの導入
補助率	対象経費の2/3以内、補助限度額：25万円
【実績】	R 4 年度46件、8,814千円（R 5 年3月1日現在）
今後の取組と課題	
R 5 年度予算額	
【今後の取組】	
引き続き、中小企業のデジタル化・DX推進による生産性向上を支援することとし、新たに「中小企業デジタル活用支援事業」として、システムや機器導入に係る費用の補助を行う。	20,000千円

【推進施策2】 事業継続につながる人材育成等の支援

事業承継計画・M&A計画の策定支援や、若手育成者の育成支援を通じて、経営者の高齢化・事業承継等の課題を有する中小企業者等を支援し、事務の効率化や生産性向上につながる支援や、技術者・雇用者のスキルアップにつながる人材の育成を支援します。

事業名	事業概要	
事業承継等促進事業補助金	事業承継による事業継続を目指す中小企業者の企業価値の算定や、事業承継計画の策定などを支援します。	
R 4 年度の事業実績		
【事業目的】 市内の中小企業者による円滑な事業承継を促進し、本市の経済基盤の維持及び経済の活性化を図る。		
【補助対象等】		
補助対象者	中小企業者のうち、市内に主たる事務所又は事業所（本社）を有し、原則として1年以上引き続いて同一事業を営んでいる法人又は個人事業主	
補助対象経費	・ 初期診断、課題分析、コンサルティング ・ 企業価値及び譲渡価格の算定 ・ 事業承継（M&A）計画策定 ・ M&A 仲介、マッチング登録料、デューデリジェンスなど	
補助率	2 分の 1。限度額50万円	
【実績】	R 4 年度 1 件、 50万円	
今後の取組と課題		R 5 年度予算額
【R 5 年度事業】	・ 制度の周知や申請勧奨の強化 ・ リーフレット作成 ・ 事業承継セミナー実施	2,500千円
【課題】	活用実績が上がらないため、制度などを見直す必要がある。	

【推進施策3】 商店街の環境整備

商店街を訪れる人の利便性及び安全性の向上のため、商店街団体が実施する環境整備を支援します。

事業名	事業概要
商店街賑わい演出事業	商店街団体が実施する路上等の共通のディスプレイ、花鉢等による装飾を支援します。
R 4 年度の事業実績	
【事業の目的】 商店街団体が継続的に実施する装飾に対して補助し、活力と賑わいのある商店街の形成を行う事業を支援する。	
【対象事業】	・ 共通のディスプレイ等で装飾するもの（イルミネーション等） ・ 花鉢等で装飾するもの（花）

基本方針②	地域の特性が光る商工業の推進
-------	----------------

関連するSDGs



【推進施策1】 先端技術を導入した付加価値の向上

先端技術を活用し、生産性の向上やイノベーションの創出に取り組む中小企業を支援します。

事業名	事業概要
中小企業のデジタルトランスフォーメーション（DX）推進	デジタル技術とデータを活用して経営課題の解決やイノベーションの創出に取り組む中小企業者を支援します。
R 4 年度の事業実績	
○ 市内中小企業のデジタル化支援に係る実証事業の実施 ・ DX体験イベント（12/20 NTTドコモ長野ビル 17社28名参加） 少し先の未来を体験できる先進デジタルソリューションの紹介（AIカメラ、顔認証、VR等） デジタル化やDX推進に向けた事例紹介等のセミナー ・ DXワークショップ（2/15 NTTドコモ長野ビル 3社のべ13名参加） 自社のDXに向けた課題整理の方法等の体験ワークショップ ・ デジタル化個別伴走支援（1月～3月 4社対象） 現状の課題整理、デジタル化方針検討、実践までの伴走支援	
今後の取組と課題	
○ デジタル化、DX支援については、いろいろな機関が様々な支援を実施しているが、それぞれが別々に実施しているため、分かりづらい状況になっている。 ○ 市内企業のDX推進を包括的に支援するための支援基盤（プラットフォーム）の整備を進める。	
R 5 年度予算額	
21,088千円	

【推進施策2】 付加価値の高い技術・製品の開発支援

ものづくり企業等が他社や高等教育機関、公的研究機関、産業支援機関等と実施する新技術または新製品の開発を支援します。

事業名	事業概要
ものづくり支援センターの運営（インキュベーションマネージャー等）	インキュベーションマネージャーと産学連携コーディネーターにより、産学官連携の推進、企業の課題解決など、ものづくり系を中心とした市内中小企業の各種相談業務を行います。
R 4 年度の事業実績	
ものづくり支援センターを拠点に産学行の連携による新産業・新技術の開発支援 ・ レンタルラボ、交流室等の低廉な料金による提供（17室使用中） ・ 人材育成や高付加価値化につなげるための企業訪問や相談業務（延べ訪問46回、相談112回 2月末現在） ・ UF0長野共創塾の開催（基礎編、実践編 全6回開催、6名受講） ・ ものづくりサロンの開催（2回開催） 第66回 ものづくり研究開発事業補助金研究成果発表会 54名参加 第67回 講演会の開催（小さくても勝てる企業、長野市の産業施策について 50名参加予定）	
今後の取組と課題	
令和4年10月から配置した産学連携ITコーディネーターにより、生産管理や品質管理システムのDX化支援などIT課題への相談対応が可能となったことを周知し、具体的な支援につなげる。	
R 5 年度予算額	
33,656千円	

【推進施策3】 集客力向上と販路開拓の推進

魅力ある商店街づくりと商店街の活性化を図るため、賑わいの創出や市民・観光客の誘客に取り組む商店街団体を支援し、ものづくり産業の振興を図るため、地域企業の技術や製造品を内外に広くアピールします。

事業名	事業概要
長野市の観光と物産展実行委員会の企画・運営	本市の物産の紹介及び販売・商談会を通じた販路の拡張等を図る「長野市の観光と物産展実行委員会」の企画・運営を実施します。
R 4 年度の事業実績	
○首都圏トップセールス 東京日本橋において長野市産品を広く周知するため、荻原市長がトップセールスを実施し、首都圏にお住まいの方・お勤めの方へ長野市の観光PRや特産品などの販売を実施。 ○ナガノミライマルシェ 市内で活動を展開する起業家や若手事業者を応援するため、ながの東急百貨店と連携し、東急前広場でマルシェを開催（5月、10月）。合計16社参加。 ○市内産品販路拡大ECブランド化事業 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により利用が拡大しているEC市場を活用し、販売支援、販路開拓・拡大等の事業者支援を行うとともに、長野市産品を全国へ広く周知し、販売拡大を図る。	
	
今後の取組と課題	R 5 年度予算額
今後の販路拡大事業や各種物産展等の販売機会に向けたビジョンを構築するとともに、事業者育成支援を行い、市内事業者の販売力・営業力の促進と魅力向上を図り、全国に向けた商業振興施策を展開する。 事業者自ら直接消費者にアピールして販売する、売れる工夫などの指導、事業者独自のEC運営など、事業者支援を強化する。	9,000千円

基本方針③ 新たな活力につながる産業の創出

関連するSDGs



【推進施策1】 新たな担い手の確保

起業家を生み出すための支援や環境づくり、起業家の成長を加速させる伴走支援や、企業ニーズに対応した企業誘致活動に積極的に取り組みます。

事業名	事業概要
スタートアップ成長支援事業 (スタートアップ・エコシステムの形成支援)	本市に起業文化が醸成され、全国から起業を志す若者が集まる「クリエイティブ・シティ」を目指し、スタートアップにつながる起業意識醸成や起業の準備段階から起業後間もない起業家への支援を行います。
R 4 年度の事業実績	
○スタートアップ成長支援事業  NAGANO STARTUP STUDIO スタートアップを理解するセミナー、アイデアピッチ等の各種イベントを行うほか、事業構想段階から起業後間もないスタートアップ等に対する伴走支援などを実施。 - 各種イベント参加者延べ人数1,233人（令和5年3月6日現在） - アイデアピッチ登壇63組、アイデアピッチ通過26組、事業化支援金獲得12組 ○ながの起業家創出プログラム (NAGA KNOCK!)  将来的に市内の社会課題を解決する起業家を創出することを目指し、「首都圏等に居住しながら兼業・副業をしたい人材」と「企業内で新規事業を立ち上げたい経営者」をマッチングし、約半年間、起業を目指しながら新規事業の立ち上げに取り組む。 - 参加者数14人、受入企業数10社 ⇒ 6人が起業に向け準備中	
今後の取組と課題	R 5 年度予算額
【今後の取組】 引き続き起業を目指す方の段階に応じた支援をきめ細かく行いながら、新たに下記の取組を行い、新産業の担い手となる新たなプレーヤーの育成等を強化していく。 ○高等教育機関スタートアップ創出事業 市内の大学生、大学院生及び高等専門学校生を対象に、起業家精神を育むとともに、ビジネスモデル開発につながる起業家育成教育を高等教育機関等と連携して実施 ○個別の活動支援 - スタートアップ外部人材活用促進補助金 外部からの人材確保に要する経費を支援 - スタートアップ調査研究・経営支援等補助金 調査研究・経営支援や試作品開発等に要する経費を支援 【課題】 ○ 高等教育機関等からの将来的なスタートアップ輩出につながるよう、市内高等教育機関の学生に向けた起業への意識の醸成に係る取組を行う必要がある。 ○ 外部人材の活用手段に関し、企業の方々にあまり知られていないことから、企業の経営者を対象に外部人材導入を促すためのイベントを実施する必要がある。	69,507千円

事業名	事業概要
企業誘致活動・ワンストップサービス展開	企業の誘致から創業後まで、ワンストップできめ細かく支援します。
R 4 年度の事業実績	
○ 働き方の自由度が高い、都市部のフリーランス・テレワーカー等を対象とした、市内企業とのビジネスマッチングセミナーの開催（2回 オンライン） ・ 第1回 7月23日（土） 申込者130名、当日参加者55名、市内企業プレゼン5社 ・ 第2回 9月13日（火） 申込者115名、当日参加者76名、市内企業プレゼン5社 →当日参加者131名中、21名が市内企業とのビジネスマッチングを希望。 ○ 企業誘致及び市内企業の販路開拓を目的に、産業展示会に出展（3回） ・ Japan IT Week秋(10/26～28、幕張メッセ、総来場者数36,116名、市内企業2社と共同出展) ・ 国際発酵・醸造食品産業展(11/29～12/1、東京ビッグサイト、総来場者数14,739名、市内企業2社と共同出展) ・ Japan IT Week関西(1/18～20、インテックス大阪、総来場者数10,736名、市内企業2社と共同出展)	
今後の取組と課題	R 5 年度予算額
○ 企業誘致活動を更に強化するため、本市の特徴や強みを活かせる誘致ターゲットの明確化及びウェブフォームを活用した直接アプローチを行う	23,422千円

【推進施策2】新産業の創出・育成

新たな産業の創出及び育成を促進するため、ものづくり企業が実施する新技術、新製品の開発等を支援します。

事業名	事業概要
スマートシティ推進事業 (スマートシティNAGANOの推進)	技術の進歩や社会のデジタル化などの変化を踏まえ、先端技術の活用による地域課題の解決と市民の暮らしの質の向上及びデジタル化による地域産業振興などを目指します。
R 4 年度の事業実績	
○「スマートシティNAGANO基本計画」の策定 ・スマートシティNAGANOの取組の方向性（ビジョン、重点テーマ、推進体制など）を示す。 ・ビジョン「2030年、サーキュラーシティ、NAGANOになる」 ○NAGANOスマートシティコミッション（NASC：ナスク）の取組 1 実証事業 (1) 長野市発サーキュラーフードプロジェクト（ICS-net株式会社） (2) 衛星データ活用プロジェクト（株式会社羽生田鉄工所） (3) 自然のサイクルを味わう サーキュラー型レストラン事業（株式会社山翠舎） 2 ワーキング活動 NASC会員企業が参加する新規事業開発ワークショップ（全8回、参加70名/13チーム）を実施 3 ビジネスプランコンテスト 大賞「土壌診断サービス 農Sight」、特別賞「AI最適食の提案アプリ」など3プラン 4 インターンシップメンバー制度 学生19名が4チームに分かれ、ワークショップやフィールドワークを行い課題解決策を検討 5 その他 NASCホームページの開設、市政テレビ、広報紙でのスマートシティの取組発信  	
今後の取組と課題	R 5 年度予算額
【今後の取組】 ○新産業創造に係る調査・研究等を通じ新産業の“芽”を見出し育てる。 ○戦略テーマとして、「フードテック」「宇宙利用産業」「バイオマス産業」を設定し、本年度の取組の展開、深化を図り産業化を目指す。 【課題】 ○産学官金連携によるオープンイノベーションの場、仕組みづくり ○市民の暮らしの質と利便性向上につながる取組の推進	135,183千円
事業名	事業概要
ものづくり研究開発事業	市内の中小企業等が大学・高等教育機関等と共同して行う新技術等研究開発事業を支援します。
R 4 年度の事業実績	
【対象経費】 新材料、製品の開発、生産加工等に関わる技術を開発するために直接必要な経費 【補助率等】 補助率：対象経費の2/3以内、補助限度額：200万円 【R 4 年度実績】 採択数4件（内、R 4 年度終了事業が2件、R 5 年度終了事業が2件）	
今後の取組と課題	R 5 年度予算額
製造業の申請が多く、情報通信分野の申請が少ない状況。 情報通信分野の研究開発を促進させるため、対象経費に直接人件費とソフトウェア開発に必要な項目を追加し、市内の情報通信産業の活性化を行う。	10,000千円

【推進施策3】ICT産業の集積促進

新たな産業の創出につなげるため、ICT産業及びICT人材の集積促進に取り組みます。

事業名	事業概要
未来のIT人材の育成	ICT産業やデジタル化の担い手の育成につなげるため、幼少期から必要な支援を行います。
R4年度の事業実績	
【子どもプログラミング教室】 ◆対象者：小学4年生から6年生 ◆実績：希望者8名に対して、IchigoJamを用いたプログラミング講座を全8回実施。「信州アプリコンテスト」への出場を目標として活動し、書類審査を通過し本選に出場。 【U-15プログラミングコンテスト】 ◆対象者：小学生から中学生 ◆実績：小学生、中学生合計40名が参加。小学生の部優勝者と中学生の部優勝者が、北海道で開催されたブレ全国大会へ参加し、中学生が3位に入賞。 【高校生向け未来のICT人材育成事業】 ◆対象者：高校生 ◆実績：IT技術者の裾野拡大を目的に市内の高校生を対象とした講座を検討。R5年度からの本格的な運用に向け市内2校において実証実験を実施。	
今後の取組と課題	R5年度予算額
例年、小学生から中学生を対象とした育成事業は実施しているが、高校生に向けた取り組みが不十分であった。就職や進学の際、ICT分野を選択の一つと考えてもらうことで、IT分野の人材不足を解消するとともに、豊富な人材をアピールすることで市外IT企業の誘致につなげる。	5,240千円

事業名	事業概要
IT人材活用・育成事業	市内ICT産業の一層の集積を図り、スマートシティの推進及び地域経済の活性化につなげるため、専門的なIT人材を育成し、市内企業への就職支援等を行います。
R4年度の事業実績	
○IT人材育成・確保支援事業（ナガノITキャリアチャレンジ） ・未経験者向けITスキル習得研修の実施（申込総数64名、参加決定人数25名） ・専属アドバイザーによる就業・採用支援、就業・採用マッチングイベント（2回）の実施（令和5年2月末時点の参加人数22名、うち内定者数8名、参加企業50社・求人数109人） ・市内企業におけるIT人材の育成・確保とDXの促進につなげるための啓発セミナーの開催（令和5年3月17日開催予定） ○高度ICT技術者雇用促進事業補助金 ・高度ICT技術者を雇用した企業1社に対し補助金を交付（50万円×1名） 【対象経費】市内の中小企業が人材紹介会社を使って高度ICT技術者を雇用した際の紹介手数料 【補助率等】紹介手数料の1/2の額（1名あたり上限50万円、1社1年度あたり2名まで）	
今後の取組と課題	R5年度予算額
【今後の取組】 今年度の取組を継続して実施する。 【課題】 IT人材育成・確保支援事業の成果を検証し、企業ニーズに即した人材育成プログラムとしていく必要がある。	18,100千円

■ 安定した就労の促進

基本方針④	就労の促進と多様な働き方の支援
-------	-----------------

関連するSDGs



【推進施策1】幅広い世代への就労支援

年齢や性別に関わりなく働く意欲のある人が働ける社会の実現に向け、国や県等の関係機関と連携し、若者・女性・高齢者・障害者等の幅広い世代への就労支援に取り組めます。

事業名	事業概要
職業相談事業	長野市職業相談室において、様々な仕事に関する悩み、職業選択、職業生活設計などの相談に対して助言指導を行うほか、ハローワークの求人情報を提供します。
R 4 年度の事業実績	
・事業所への出前講座の実施 「働く人のためのメンタルヘルス講座」及び「働く人のためのコミュニケーション講座」 計5回実施 ・若手社員応援講座の実施 「もっと！！メンタルヘルスとコミュニケーションの深いかかわりを学ぶ！」 7月22日（金）開催 参加者 9人 ・在職者定着支援講座の実施 「働く人のためのメンタルヘルス講座」 11月7日（月）開催 参加者 10人 「今、なぜレジリエンスなのか」 2月16日（木）開催 参加者 8人	
今後の取組と課題	
相談件数が減少傾向にあることから、イベントやセミナーの開催などを充実させるとともに、認知度を高めるための新たな事業展開をしていく必要がある。	
R 5 年度予算額	
12,005千円	

事業名	事業概要
子育て世代と女性の活躍支援	子育て中の女性などの再就職に向けたイベント「ママたちのお仕事フェスタ」を開催するほか、企業に対しては、両立支援や女性活躍に向けた意識啓発に取り組めます。
R 4 年度の事業実績	
・「ママたちのお仕事フェスタ」の開催 9月29日（木）・10月7日（金）生涯学習センター 参加者 延べ56人 ■開催10周年記念講演 「小林知美流“働きたいママこそ、子育て向き！”」 ■先輩ママに聞く！（参加企業3社） ■役立つセミナー ■個別相談 ・子育て雇用安定奨励金交付事業	
今後の取組と課題	
「ママたちのお仕事フェスタ」は、開催から10年が経過することから、対象や内容を見直し、時代に合ったニーズの高い事業を展開していきたい。	
R 5 年度予算額	
727千円	



事業名	事業概要
生涯現役促進地域連携事業	企業訪問による求人開拓や人材活用に向けた啓発、就労支援セミナーの開催などにより、55歳以上の高齢者への就業機会の拡大を図るとともに、生涯現役で活躍し続けられる社会の実現を目指します。
R 4 年度の事業実績	
「ながのシニアおしごとサポートセンター」の設置 「ながのシニアのおしごと『ご縁』結び」の開催 10月26日(水)・1月26日(木)開催 「シニアのライフプランセミナー」の開催 8月31日(水)・12月10日(土)開催 「シニア人材活用セミナー」の開催 2月15日(水) 長野市芸術館アクトスペース 「未体験チャレンジ事業」の開催 - ホームページの開設・運営 - 企業向けニーズ調査の実施	
	
今後の取組と課題	R 5 年度予算額
国の生涯現役促進地域連携事業の終了に伴い、3年間の事業で培ったノウハウを活用して一部事業を継続し展開していく必要がある。	0千円

【推進施策2】 情報提供とマッチング機会の拡充

市内企業の担い手や専門技術を持った人材を確保するため、就職情報サイト等を活用して、市内企業の魅力や就職情報を発信するとともに、企業と学生等の情報交換やマッチングの機会を提供します。

事業名	事業概要
長野地域UJIターン 就職促進事業	東京圏新卒者・社会人経験者に対し、企業の魅力や長野地域で暮らすことの魅力などを伝えるなどのイベントを通じて、また、企業に対しては採用力強化を行うことを通じ、長野地域への就職を促進します。
R 4 年度の事業実績	
長野市を含む9市町村や商工会議所などで構成する「長野地域若者就職促進協議会」が運営 「ナガノのシゴト博」の開催 開催日 2月11日(土) 開催場所 JPタワー ホール&カンファレンス 参加者 115人 参加企業 44社 - 就職情報サイト「おしごとながの」の運営 「採用力強化講座2022」の開催 第1回【基礎編】 11月29日(火) 第2回【応用編】 12月6日(火)	
 	
今後の取組と課題	R 5 年度予算額
「ナガノのシゴト博」は、対面形式での開催が復活したことにより、今後は長野地域の仕事だけでなく、暮らしや食なども併せて発信するとともに、参加者同士の交流の場となるイベントを目指す。「おしごとながの」は、大手就職情報サイトに比べ認知度が低く、登録企業数も少ない状況であることから、広く活用してもらえる工夫が必要である。	11,320千円

事業名	事業概要
市内学生市内就職 応援事業	市内在住の学生に対して座談会やバスツアーなど様々なイベントを通じて市内企業との出会いの場を創出します。また、市内企業に対しては、魅力的なインターンシッププログラム策定支援や情報発信力の強化を行うことで、市内企業への就職や定着を促進します。
R 4 年度の事業実績	
「1 Dayバスツアー」の開催 開催日 2月21日(火)・2月24日(金) 参加企業 各日4社(午前2社・午後2社) 「インターンシップ説明会」の開催 11月23日(水・祝) JAアクティホール 「座談会」の開催 9月24日(土)・11月26日(土) 生涯学習センター 「企業向けセミナー」の開催 9月27日(火)・11月2日(水) 生涯学習センター	 
今後の取組と課題	R 5 年度予算額
参加する企業や学生にメリットがあり、多くの学生が参加しやすい内容の企画を展開していく。	6,402千円

【推進施策3】 多様な働き方を実現する環境づくり

長時間労働の是正や柔軟な働き方の実現など、ワークライフバランスの重要性について、事業者への意識啓発を図るとともに、仕事と家庭との両立支援を促進します。

事業名	事業概要
働き方改革の推進	国や県と連携を図りながら、企業における働き方改革の浸透と法令遵守への働きかけを通して、労働生産性の向上や業務の効率化・省力化を目指します。
R 4 年度の事業実績	
「働き方改革オンラインセミナー」の開催 「改正・育児介護休業法」 ～企業の具体的対応方法と助成制度の活用～ 開催日 11月30日(水) 共催：長野働き方改革推進支援センター 参加企業 7社	
今後の取組と課題	R 5 年度予算額
柔軟で多様な働き方が実現できる社会を目指し、引き続き普及啓発に取り組む。また、(仮称)勤労者活躍支援センターは、変化する社会情勢に対応し、様々な課題を解決していくための機能を有した施設に転換していくことが必要。	112千円

【推進施策4】 職業能力向上と職業訓練の支援

変化する社会に適応した職業能力向上のため、職業訓練等の機会を提供するとともに、人材育成への支援をします。

事業名	事業概要
地域職業訓練センター改修	職業訓練法人長野地域職業訓練協会に施設を貸与し、在職者等の各種職業訓練・研修を行っている。
R 4 年度の事業実績	
・長野共同高等職業訓練校の再配置 施設東側の県道拡幅に伴い既存の訓練校の教室棟などを令和5年度中に解体撤去することとなり、訓練校の機能継続のため、規模を適正化した教室棟等の新築、既存施設の改修を行っている。 (令和5年度しゅん工予定) 長野県へ施設用地を引き渡すことに伴い施設駐車場が不足するため、代替用地を購入。 ・長野地域職業訓練センターエアコン交換 老朽化し故障時に必要な修繕部品の供給が終了していることから、故障時に施設運営の支障とならないよう、エアコンの交換を実施。	
今後の取組と課題	
安定した施設運営のため、必要となる施設（設備）改修等を計画的に実施する。	R 5 年度予算額
・長野地域職業訓練センター外壁タイル改修工事	187,010千円

【推進施策5】 福利厚生の増加による勤労者生活の充実

勤労者の福利厚生の実現を図るため、関係機関と連携し、勤労者が心身ともに健康で働くことができる環境づくりを促進します。また、勤労者の雇用と生活の安定や福祉増進に向けた取組を支援します。

事業名	事業概要
勤労青少年ホーム改修	勤労者福祉施設の再編事業実施に伴う施設整備、勤労青少年ホーム3館の修繕等
R 4 年度の事業実績	
・勤労者福祉施設の再編事業 旧南部働く女性の家を（仮称）勤労者活躍支援センターBとして供用するための改修工事に係る各種調査業務、実施設計を実施した。	
今後の取組と課題	
勤労者福祉施設の再編に沿った施設整備を進める。 (仮称) 勤労者活躍支援センターB整備工事 (仮称) 勤労者活躍支援センターA建設工事に係る実施設計	R 5 年度予算額
	207,610千円

1. 新産業創造に向けた体制整備について

- 人口減少社会の中で、地域の元気を創造するためには、安定的な雇用環境の整備や多様な人材が集まるよう、市内経済の基盤強化・発展が必要不可欠。
- 従来の行政手法を超えて、分野横断型での取組みを実行・加速化させるために、荻原市長公約に基づき、本年4月に「新産業創造推進局」を設立。
- 「スマートシティの推進」、「スタートアップ企業の創出・成長支援」、「IT人材の育成」、「バイオマス産業の創出」などの取組みに着手。
- 組織マネジメントにおいても、従来型の「課」ではなく、「チーム」制を導入し、社会変化に応じて柔軟に対応する体制を構築。

新産業創造推進局

スマートシティ推進チーム

- ✓ スマートシティ推進事業に関すること
- ✓ 新産業に係る施策の調査・調整・企画に関すること

産業基盤創生・人材育成チーム

- ✓ スタートアップ企業支援・誘致、起業家輩出等に関すること
- ✓ 新産業の担い手に係る人材育成施策に関すること

バイオマス推進チーム

- ✓ バイオマス関連事業に関すること
- ✓ 新産業に係る脱炭素事業に関すること

2. 新産業創造推進局設置に伴う商工観光部等からの事務の移管

令和4年3月末までの事務の所管

商工観光部

商工労働課

- スタートアップ支援
- IT人材育成(即戦力)
- 商工業振興、中小企業振興資金融資
- 工業立地、企業誘致
- 未来のIT人材育成
- 計量
- 雇用対策

など

環境部

環境保全温暖化対策課

- バイオマス関連
- 地球温暖化対策
- 環境汚染・生活環境公害対策

など

企画政策部

企画課

- スマートシティ関連
- 総合計画策定
- ふるさと納税
- 統計調査

など

令和4年4月以降の事務の移管先

新産業創造推進局

スマートシティ推進チーム

○スマートシティ関連

産業基盤創生・人材育成チーム

○スタートアップ支援(起業支援)
○IT人材育成(即戦力)

バイオマス推進チーム

○バイオマス関連